

# 基本目標 1

## 須恵町で安心な暮らしを営める環境を作る

### 現状と課題

須恵町では、近年、人口の転入超過が続いており、子育て世代を中心に町外から町内に多くの人が移住してきている。また、町内居住者は戸建てなど持ち家率が高く、定住者も多い。町内の居住環境は、公民館や集会所が居住地の近くに立地し、コミュニティを形成しやすい環境にあり、多様なコミュニティ団体が現在も活躍している。

一方で、コミュニティ活動主体は世代交代や移住者との交流が進まず、活動主体の高齢化、加入者の減少・固定化が課題となっている。

加え、町内居住者は町内の公共交通（移動手段）に不満を抱く人が多く、今後さらなる高齢化を見据え、移動手段の確保も必要とされている。

### 基本的方向と施策

#### 基本的方向 1：住民が参画する協働のまちづくり

施策① コミュニティ活動やまちづくり団体の活性化

施策② コミュニティ活動の役割の再認識

施策③ 障がい者、高齢者の社会参画基盤活性化

#### 基本的方向 2：快適で利便性の高い住環境の形成

施策① 地域の移動を支えるコミュニティバスの運行

施策② 魅力ある住環境の形成

施策③ 本町における住環境の魅力を積極的に発信

### 数値目標

数値目標	目標値（平成 31 年）	基準値
まちづくりに関する活動数	35 件	31 件
住宅環境の整備に対する町民の満足度	60.0%	49.5%（H27）
転入超過者数（住民基本台帳移動人数）	200 人／年	201 人／年 （H22～26 年平均）

## 基本目標 1

須恵町で安心な暮らし  
を営める環境を作る

## 基本的方向 1

住民が参画する協働のまちづくり

行政と町民とのパートナーシップの視点に立った、自主的・自律的な住民自治によるまちづくりを図るため、行政と町民がまちづくりの方向性を両者が共通認識できる全町的な推進体制を構築するとともに、町民がそれぞれの立場で「まちづくり」に参画して活躍できる体制を構築する。

### 施策① コミュニティ活動やまちづくり団体の活性化

まちづくり団体の組織体制の強化とコミュニティ活動を充実するため、リーダーやコーディネーターの育成と、まちづくり団体間の相互連携体制を構築する。

#### ≫具体的事業

内容（具体的事業）	担当課
コミュニティ活動の担い手育成	まちづくり課
まちづくり活動助成支援事業（1団体：上限50万円）	まちづくり課
コミュニティ活動の支援	まちづくり課 社会教育課

#### ≫数値目標

重要業績評価指標（KPI）	数値目標	基準値
まちづくり団体の組織数	3団体	3団体
まちづくり団体の所属人数	180人	170人
コミュニティ活動の開催数	35回	31回(H27)

## 施策② コミュニティ活動の役割の再認識

地域防災・環境保全・福祉など、多岐にわたるコミュニティ活動が「まちづくり」に果たす役割を、行政と町民とのパートナーシップの視点に立って再認識するために、コミュニティ活動の方向性を両者が常に共通認識できる体制を構築する。

### ≫具体的事業

内容（具体的事業）	担当課
コミュニティ活動の役割の再編	まちづくり課 社会教育課
コミュニティ活動の充実	まちづくり課 社会教育課
「地域の魅力」を発見するための「校区別魅力発見事業」	まちづくり課
コミュニティ組織への加入支援	まちづくり課 社会教育課
須恵町の認知度向上を目指した PR 事業(対町外)のプランニング	まちづくり課

### ≫数値目標

重要業績評価指標（KPI）	数値目標	基準値
コミュニティ活動と行政との協議回数	5 回	2 回(H27)

## 施策③ 障がい者、高齢者の社会参画基盤活性化

誰もが格差なくまちづくりに参画しやすいコミュニティを推進するため、障がい者、高齢者が参画しやすいまちづくり団体とコミュニティ活動の運営を推進する。

### ≫具体的事業

内容（具体的事業）	担当課
障がい者、高齢者の積極的な参加を可能とする、まちづくり団体及びコミュニティ活動の組織運営援助	健康福祉課 まちづくり課
高齢者と子供が触れ合う行事（寺子屋）の開催	教育委員会
高齢者と食改善グループが連携した「オープンカフェ」創設の検討	健康福祉課 まちづくり課
介護保険・障がい者サービスの見直し	健康福祉課
シルバー人材センターの利活用	健康福祉課
高齢者人材バンクの設置と活躍の場の創出（子育て・教育・観光ボランティア登録）	健康福祉課
IT インフラを活用した障がい者、高齢者サービスの導入	健康福祉課

### ≫数値目標

重要業績評価指標（KPI）	数値目標	基準値
障がい者、高齢者のまちづくり等参加者数	数値把握	未把握（多数のため）

## 基本目標 1

須恵町で安心な暮らし  
を営める環境を作る

## 基本的方向 2

快適で利便性の高い住環境の形成

恵まれた自然環境のもと、町民が住みやすく今後も住み続けたいと思うまちを形成するために、町民のニーズを踏まえ、適正な土地利用と公共交通体系の整備を促進するとともに、公園の整備等による緑豊かで快適な町並みづくりを推進する。

また、年齢等による家族構成やライフスタイルの変化による町外への転出を防ぐため、須恵町の魅力を積極的にアピールする。

### 施策① 地域の移動を支えるコミュニティバスの運行

町民の利便性の向上や鉄道との接続、既存バス路線と共存した路線の検討やダイヤ、運賃、バス停の見直し・検討を適宜行い、より効率的・効果的な運行を実施する。

#### ≫具体的事業

内容（具体的事業）	担当課
須恵町地域公共交通活性化協議会によるルート・ダイヤの検討	まちづくり課
企業広告ラッピング・バス停ネーミングライツの導入による財源・関連企業の確保	まちづくり課

#### ≫数値目標

重要業績評価指標（KPI）	数値目標	基準値
コミュニティバスの利用者数	前年比 100%維持	48,814 人(H26)

## 施策② 魅力ある住環境の形成

須恵町に住みたい、住みたいと思える住環境を形成するため、須恵町のシンボルである公園の再整備を行うとともに、日々の暮らしを送る上で魅力ある町全体の土地活用方法と公共交通体系を検討する。また、須恵町が有する住環境の魅力を積極的に発信し、転出者抑制と転入者獲得を図る。

### » 具体的事業

内容（具体的事業）	担当課
シンボルである「皿山公園」の整備推進	地域振興課
都市公園等の整備計画の検討	まちづくり課 都市整備課
地域価値の向上を目指した「土地活用計画」・「公共交通政策」の立案	都市整備課 まちづくり課
立地適正化計画の検討	都市整備課

### » 数値目標

重要業績評価指標（KPI）	数値目標	基準値
住宅環境の整備に対する町民の満足度	60.0%	49.5%（H27）
住宅地の地価公示価格（須恵—1）	50,000 円/㎡	41,900 円/㎡（H27）
住宅地の地価公示価格（須恵—2）	50,000 円/㎡	40,700 円/㎡（H27）

## 施策③ 本町における住環境の魅力を積極的に発信

須恵町が有する住環境の魅力を積極的に発信し、転出者抑制と転入者獲得を図る。

### » 具体的事業

内容（具体的事業）	担当課
須恵町居住プロモーション（冊子、ホームページ、映像など）	まちづくり課

### » 数値目標

重要業績評価指標（KPI）	数値目標	基準値
転入超過者数（住民基本台帳移動人数）（再掲）	200 人/年	201 人/年 （H22～26年平均）